

「文化を基軸とした市政運営」に係る重点方針

方針1 新たな経済的価値の創出

文化に対する戦略的な投資を促すとともに、文化芸術を基軸とし、観光をはじめとする関連分野との連携により、新たな需要や経済的な付加価値を創出し、持続的な文化の発展と経済成長の好循環を生み出す。

【平成30年度の主な取組】

- ・ KYOTO STEAM - 世界文化交流祭 -
- ・ 「京都×パリ」京ものアート市場開拓支援事業
- ・ 二条城（文化財）の保存・活用推進

方針2 地域共生社会の実現

文化芸術を基軸として、地域社会の活発なコミュニケーションを生み出し、多様な価値観の形成、相互理解及び社会参加の促進を図る。また、地域の多様な主体による創造的活動の活性化を図ることなど通じて、共生社会の実現、地域課題の解決、社会的価値の醸成に努める。

【平成30年度の主な取組】

- ・ 文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業
- ・ 「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信
- ・ 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出
- ・ 暮らしの文化はぐくみ事業

方針3 都市間文化交流の更なる発展

世界文化自由都市宣言の理念を実現するため、京都が都市間文化交流における中心的役割を果たす。「自由と寛容」の精神に代表される京都の強みを活かし、国内外の都市間文化交流を更に発展させ、京都の文化芸術の振興を図るとともに、「世界の文化首都・京都」として、日本の国家ブランディング、国際プレゼンスの向上にも貢献する。

【平成30年度の主な取組】

- ・ 明治150年・京都のキセキ・プロジェクト
- ・ Res Artis（レザルティス）2019京都会議の開催
- ・ ICOM 京都大会開催に向けた機運づくり